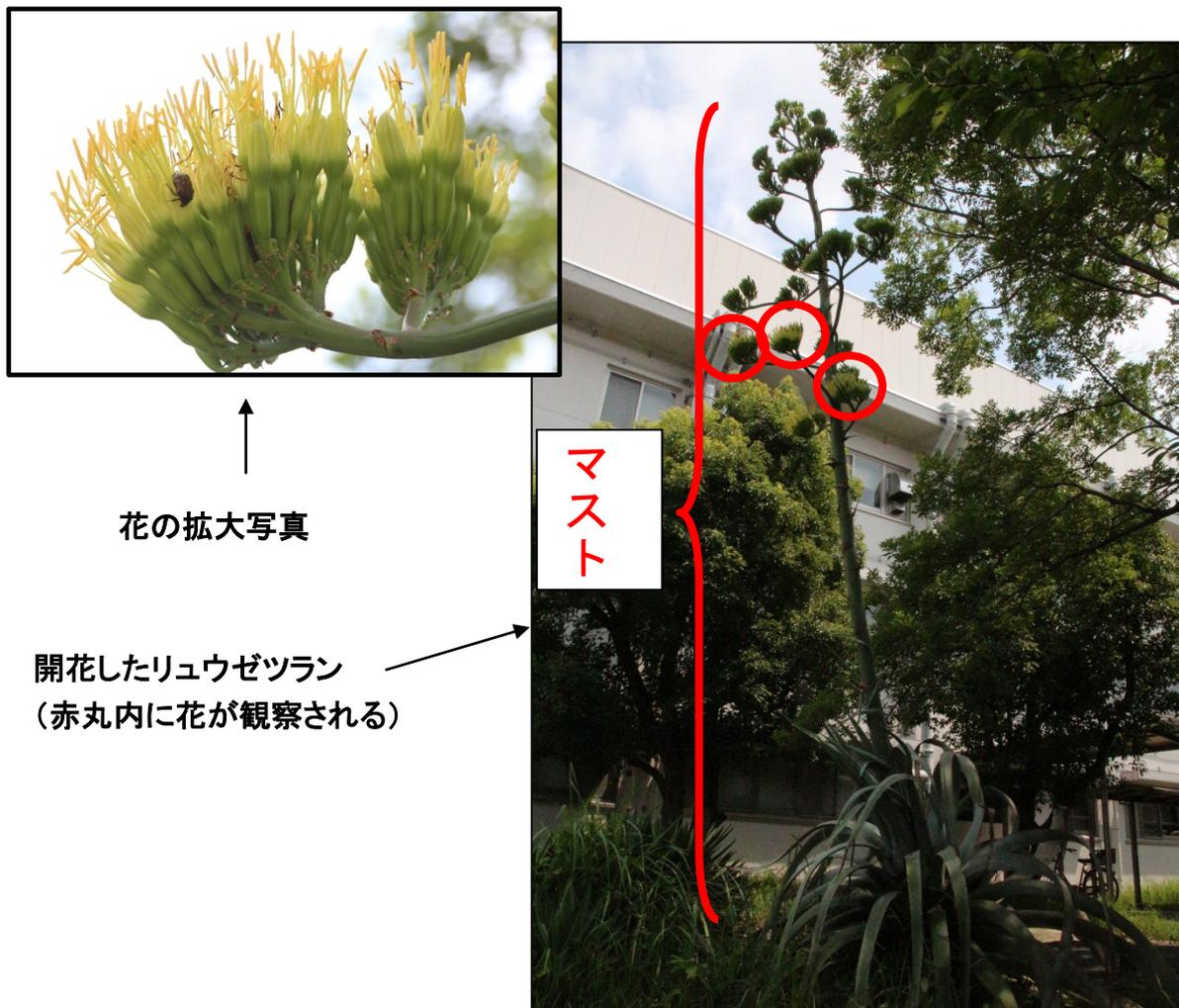


数十年に一回きりのリュウゼツランの花が咲きました

— 数十年をかけ成長したのち1度だけ花を咲かせる —

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 関西センター

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 関西センターの敷地内(正門近く)に植わっているアオノリュウゼツラン(竜舌蘭)【学名: *Agave americana*】1株が7月末に開花しました。



アオノリュウゼツランは、2ヶ月ほどかけてロゼットの中心から「マスト」と呼ばれる花茎を伸ばして、7メートル近くなり、その先に短い筒状のつぼみがたくさんついています。ひと月くらいの期間で下から順番に咲いていきます。この株は、結実後には枯れるそうです。

このアオノリュウゼツランは、産総研関西センターの前身である大阪工業技術研究所が昭和41年に現在の敷地(池田市緑丘 1-8-31)に集中移転した後に植えられたことが判明していますが、この株の由来については不明です。なお、リュウゼツランの1種には、メキシコのテキーラ酒の原料になるものがあることが知られています。

※ 一般の方は柵外からご覧いただけます。

写真撮影のためでも構内への立ち入りは禁止します。また、車に気を付けてご覧ください。